間接補助事業の名称：BaaS実現を目指した、2次利用へのRe-Sell 流通実証

＜事業概要＞

石垣島を実証フィールドとし、EVの「車両」と「バッテリ」の価値を分離するBaaS（Battery as a Service）事業の構築を目指す取り組みです。
通信デバイスとデータサイエンスを用いてバッテリの劣化状態（SOH）を把握し、その履歴や残存価値をブロックチェーン上の「電池パスポート」として管理・証券化します。
バッテリ交換式EVやステーション運用により寿命を最大限に活かす多段階利用を促進し、公正な中古市場の創出、外部投資の獲得、地域レジリエンスの向上を実現することを目指しています。

＜実施体制図＞

